

「教職を目指す学生同士で語り合う会 ～はじめまして！魅力・仲間に出会う時間～」を開催しました

5月29日(金)、オンラインイベント「教職を目指す学生同士で語り合う会 ～はじめまして！魅力・仲間に出会う時間～」を開催しました。

この企画は、教職を目指す学生同士が大学や学年の垣根を越えて交流し、教職の魅力や不安、これから挑戦してみたいことについて語り合う場として、学生プロジェクトのメンバーが中心となって企画・運営しました。

実はこのイベント、「もっと教職を目指す学生同士でつながりたい」「他大学の学生とも教育について話してみたい」という私たち学生の何気ない一言から始まりました。当時はまさか本当に実現できるとは思っていませんでしたが、横浜市教育委員会の皆様に後押しいただき、今回こうして開催することができました。

教職を目指す学生同士で語り合う会
～はじめまして！
魅力・仲間に出会う時間～

学生が主体的に学び合う
「第3の学びの場」

日時 **2026年5月29日** **15:30～17:00** **オンライン開催**

費用：無料！

横浜イノベーションアカデミアを知っていますか？
今年度は、新たに「学生が主体となって企画・運営する「学生プロジェクト」」がスタートします！
その第1弾として、教職を目指す学生同士で語り合う会を開催します。今回は、昨年度アカデミアに参加した学生が中心となって企画しました。

これまで出会った素敵な先生って、どんな先生？
先生になる魅力ってなんだろう？

教職に興味はあるけど、
自分が先生になれるのか自信が無い...
教職を取るか迷っています！

横浜で先生になりたい！
でも先生になりたいと思っただけで...？
先生を目指す違う大学の人も話してみたいな
ぜひご参加お待ちしております！

これから教職を目指す仲間同士で、授業や先生との
出会いをふり振り返りながら、教職の魅力や普段なかなか
話せない悩みを共有できる場にしたと考えています！
はじめて出会う学生同士だからこそ、気軽に
話し、つながりを広げる機会にしませんか？

申込 締め切り お問い合わせ

5月24日(日)

横浜市教育委員会事務局 教職員育成課
☎ 045-411-0517
✉ ky-student@city.yokohama.lg.jp

URL <https://shinsei.city.yokohama.lg.jp/cu/141003/ea/residents/procedures/app/ky/34ec12af-70d3-4ba8-8445-d40b5c6b694/start>

教職に少しでも興味のある
学生大歓迎！！
大学や学年の枠を超えて、
最高の仲間と
出会ってませんか？

「自分らしさ」が見えたアイスブレイク

グループごとの交流では、まず自己紹介とアイスブレイクを行いました。

「自分を表す漢字一文字」をテーマに交流したグループでは、「笑」「晴」「楽」「空」「知」「新」など、それぞれの個性が表れた漢字が挙がりました。一方で、「真」「考」「直」「努」といった漢字も多く見られ、教職を目指す学生らしい真面目さや素直さ、向上心といった学生同士の共通点も感じられました。

初対面同士でしたが、和やかな雰囲気の中で交流が進み、自然と会話が弾む時間となりました。



教職の魅力は「一人ひとりに寄り添えること」

グループ協議では、「なぜ教職を目指そうと思ったのか」「どんな先生になりたいか」について語り合いました。

参加者からは、

- ・ 素敵な先生との出会いがきっかけだった
- ・ 子どもたちを楽しませようと工夫する先生の姿に憧れた
- ・ 生涯学び続けられる仕事だと感じた
- ・ 子どもの発見や声を大切にする授業をつくりたい

といった声が多く挙がりました。

また、理想の教師像については、

- ・ 信頼される先生
- ・ 子どもの得意や好きを伸ばせる先生
- ・ 子ども一人ひとりに寄り添える先生
- ・ 楽しそうに働く先生

などが共有されました。

特に多くのグループで共通していたのが、「一人ひとりに寄り添う」というキーワードです。

不安な時に声を掛けてくれた先生、子どもの小さな変化に気付いてくれた先生、相談しやすい先生など、自分自身の経験を振り返りながら、「自分もそんな先生になりたい」という思いが語られる姿が多く見られました。

また、「この先生だから話を聞きたいと思えた」「普段は優しいけれど、大切な場面ではしっかり指導してくれた」といったエピソードも共有され、「メリハリ」や「その先生らしさ」が子どもたちの印象に残ることも話題となりました。



教職への不安も率直に共有

魅力について語り合った後は、教職への不安についても率直に意見交換を行いました。

参加者からは、

- ・子どもとの適切な距離感が分からない
- ・授業中に予想外の発言が出た時に対応できるか不安
- ・教材研究はどのように行うのか
- ・仕事とプライベートを両立できるのか
- ・いきなり担任になってやっていけるのか

といった声が挙がりました。

それに対して、教育実習や学校現場での経験を持つ学生からは、

- ・現場の先生の姿を参考にしながら学んでいく
- ・等身大の自分で子どもと向き合うことが大切
- ・学級のルールや指導の基準を明確にする
- ・一人で抱え込まず周囲に助けを求める
- ・学校は「チーム学校」として支え合う場である

といったアドバイスや経験談が共有されました。

不登校支援や思春期の子どもへの関わり方、部活動の地域移行による子どもとの関係づくりへの影響など、これからの教育に関わる幅広いテーマについても意見交換が行われました。



これからやってみたいこと

後半では、「こんな取組があったら参加したい」というアイデアを出し合いました。

参加者からは、

- ・ 学生同士で模擬授業を行う会
- ・ 学級経営やアイスブレイクを学ぶ交流会
- ・ 学校現場の見学会
- ・ 現職教員や退職教員との座談会
- ・ 子ども向けワークショップの企画
- ・ 理科実験教室など子どもと関わるイベント
- ・ 先生に自由に質問できる会

など、多くのアイデアが提案されました。

また、「学校現場を見る機会がもっと欲しい」「教員志望の仲間と継続的につながりたい」という声も多く、学生同士の横のつながりへの期待の大きさが感じられました。



最後に

私自身も今回の企画を通して、他大学・他学年の学生と教育について語り合うことができ、とても刺激的な時間となりました。教職への思いや不安は人それぞれですが、同じ志を持つ仲間と出会い、語り合うことで、新たな気付きや学びがたくさんありました。

このイベントは学生の「やってみたい」という一言から始まりました。だからこそ、これを読んでいる皆さんにも、「面白そう」「やってみたい」と思ったら、ぜひ学生プロジェクトに参加してほしいと思います。

企画経験の有無は関係ありません。教職に興味がある方、教育について語りたい方、仲間をつくりたい方、大歓迎です。

私たちと一緒に、新しい学びの場をつくっていきませんか。

学生プロジェクトでは、これからも一緒に活動する仲間を募集しています。

